

いずみ幼稚園自己評価・学校関係者評価

本園の教育目標

- 1 仏様を拝み、優しく思いやりのある子どもに育てる
- 2 元気で明るく、のびのびとした子どもに育てる
- 3 物事に進んで取り組み、最後まで頑張れる子どもに育てる
- 4 良く見、良く考え、けじめのある子どもに育てる

1 今後5年間で達成することが必要と思われる評価項目と取り組み年度

I	本園の教育課程及び保育の再確認と見直し	令和元年度
II	小学校との接続期の保育、幼保小連携の在り方再確認	
III	園の施設・設備遊具等の安全点検と防災・防犯・避難訓練等の実施と改善	
I	教育要領の共通理解と本園の教育・保育課程の見直し	令和2年度
II	認定こども園としての体制作りと改善	
III		
I	本園の教育課程及び保育の再確認と見直し	令和3年度
II	小学校との接続期の保育、幼保小連携の在り方再確認	
III		
I	本園の教育課程及び保育の再確認と見直し	令和4年度
II	園の施設・設備遊具等の安全点検と防災・防犯・避難訓練等の実施と改善	
III		
I	子育て支援・家庭支援体制の再構築	令和5年度
II	小学校との接続期の保育、幼保小連携の在り方再確認	
III		

2 令和元年度 重点的に取り組むことが必要な評価項目とその設定理由

I	<p>教育要領の共通理解と本園の教育課程の見直し</p> <p>ア. 本園の目指す方向を確認しながら保育を進めていく必要がある。学年ごとに指導計画や記録の作成に際して、本園の教育課程と照らし合わせ確認しながら進める。</p> <p>イ. 園内での研修を通して教育要領の再確認を行い、併せて指導計画や保育記録を参考にしながら教育課程を見直し修正する。</p>
II	<p>小学校との接続期の保育、幼保小連携の在り方再確認</p> <p>ア. 本園に永明ブロック内の幼稚園・保育所（園）、小学校、連携アドバイザーを招いて研修会を行い、情報交換及び交流を行い、スムーズな就学へと繋げる。</p> <p>イ. 永明小学校見学を行い就学への意識を高めるとともに、必要な園内研修の充実を図る</p>
III	<p>園の施設・設備遊具等の安全点検と防災・防犯・避難訓練等の実施と改善</p> <p>ア. 施設・設備・園庭遊具等の安全を定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善を行う。</p> <p>イ. 毎月、防災・防犯・避難訓練を行う。また実のある訓練となるよう確認していく。</p>

3 学校評価の具体的な目標や取り組み方

項目	内容
I-ア	必要に応じて朝夕の会議を行いながら教育目標を確認、週1回の学年の打ち合わせを行う。
I-イ	全体で教育課程を見直し、時代に合った、地域と連携した教育課程にしていく。
II-ア	幼児教育センター主催の自主研修に参加したり、小学校と連絡を取り合ったり等、連携を図る。
II-イ	年長児が小学校見学を行うことによって就学への意識を高めたり、年長の保育を再確認したりする検討材料とする。
III-ア	遊具安全点検表を作成し園庭遊具の安全管理に役立てる。
III-イ	防災・防犯・避難訓練を行い、行った反省を次に活かしながら実際の場面に即した訓練となるようにする。

4 重点項目の自己評価

項目	評価
I-ア	行事に追われ、教育課程と照らし合わせるところまでいかなかった。
I-イ	園全体での会議はできていて教員間の共通理解も進んでいる様に思われる。次年度も引き続き行っていきたい。
II-ア	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、小学校見学が取りやめになり、年長児に授業風景を参観させることができなかった。
II-イ	
III-ア	毎月の遊具の安全点検もできていた。職員も遊具のどの箇所をチェックすれば良いかわかってきたようである。
III-イ	避難訓練、防災・防犯訓練も続けておこなってきていて園児の動きもスムーズになってきた。実際に震度3程度の地震の時にも机の下に隠れ、泣いたり騒いだりすることもなかった。

5 学校関係者評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に園内研修ができるようになり、共通理解が深まってきているように思います。 ・正規職員と非正規職員の共通理解を図る場が持てると更に良くなると思います。 ・年長児が給食の食材などの買い物に出かける体験は、散歩中に交通安全を学んだり、貨幣価値を学んだりできて、今後活かされると思います。
--